

特別支援教室だより②

令和7年9月2日(火)
江戸川区立二之江第二小学校
校長 鳥居 圭

今回の「特別支援教室だより」では、二之江第二小学校で5年生の児童を対象に行った、理解教育についてご紹介いたします。理解教育とは、「にじいろの部屋」(特別支援教室)ではどのような学習をしているか正しく理解することをねらいとして行っている授業です。話を聞くだけでなく、実際の授業を体験することで、理解を深められるようにしています。

担任の先生方と協力して授業を進めてきました。

めあて 自分の得意を知る

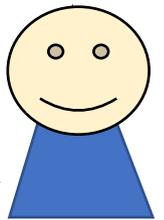
今日の学習

- ① にじいろの学習
- ② 得意な方法を知る
- ③ ふりかえり・まとめ

にじいろのへやでの学習

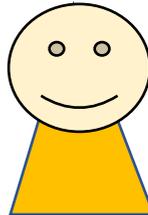
- 自分の得意なこと、苦手なことを知る。
- 得意なことをふやしていく。
- 苦手なことがあった時の対応方法を知る

特別支援教室は何のためにやっているのだろうと思っていたけれど、何をしているのかわかってスッキリしました。



※吹き出しは実際学習した子どもたちの感想を基にしています※

にじいろの学習はこんなことをしていることに、ビックリしました！



① にじいろの学習

学習内容体験：ナンバータッチ

ランダムに並べられた数字を順番に見つけていく活動です。

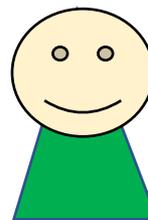


②得意な方法を知る

自分はどっち？

2つのアンケートに取り組みで、自分にあった方法を知るアンケートです。

- 【今回のアンケートで知ることができたこと】
- ・わかり方…情報を一つずつ順番に処理する能力(継次処理)と、情報を全体的に、総合的に処理する能力(同時処理)があること
 - ・得意な方法…視覚優位、聴覚優位があること



自分の得意なことや自分について知ることができたよ。

③ふりかえり・まとめ

- ・視覚優位だと思っていたのに、聴覚優位だという結果が出ておどろいた。
- ・自分の得意なものや苦手なものが分かった。